

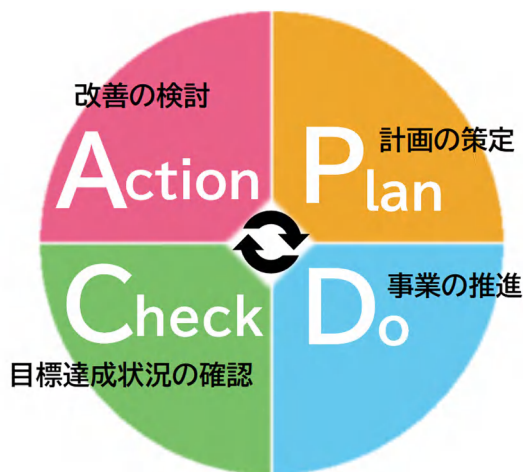


第 9 章 前橋市水道ビジョンの事後検証

本経営戦略は、令和8年度から令和19年度までの12年間を計画期間としています。計画の基礎となる水需要予測や投資・財政計画は計画策定時点で想定される要因を考慮して予測していますが、今後の社会情勢によっては大きく変化する可能性もあります。さらに、県央水の受水契約、地下水の水質悪化、物価の高騰など事業進捗に影響を及ぼすような要因も考えられます。

そこで、毎年の決算が公表された後、経営戦略の収支計画との乖離や他計画との内容の整合を検証していきます。加えて、PDCAサイクルによる進捗状況等の評価・検証を行ったうえで、お客様ニーズや社会環境の変化等を踏まえ、4年ごとに収支計画を修正していきます。水道ビジョンは、収支計画の修正に合わせて、令和12年度と令和16年度に進捗状況の評価と見直しを行います。

● PDCA サイクル ●



● 目標値 ●

目標値		R6(現況)	R11	R15	R19
経営比較分析表の関連指標					
施設利用率	%	71.2	66.5	59.6	60.8
有収率	%	78.4	82.1	84.3	85.6
管路経年化率	%	31.6	36.9	45.2	55.1
管路更新率	%	0.6	0.8	1	1.2
経常収支比率	%	111	92	103	106
累積欠損金比率	%	0	0	0	0
企業債残高対給水収益比率	%	234	454	445	455
料金回収率	%	104	84	95	100
給水原価	円/m ³	147.9	182.8	197.7	215.5
流動比率	%	181.2	175.6	157.1	141.0
その他の重要な指標					
浄水施設の耐震化率	%	12.4	56.2	56.2	71.4
配水池の耐震化率	%	50.2	60.8	62.5	72.2
基幹管路の耐震適合率	%	82.7	83.7	85.1	86.1
重要給水施設配水管路の耐震適合率	%	68.2	82.0	91.8	100.0